

平成29年度 農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 事業実施主体 評価結果

1. 事業評価の実施

平成29年度に実施された農山漁村振興交付金(山村活性化対策)の事業について、「農山漁村振興交付金実施要領」(平成28年4月1日付け27農振第2326号農林水産省農村振興局長通知)別紙3の第7の1の規定に基づき、評価を行ったので、その結果を公表する。

2. 評価結果

都道府県	市町村	事業実施主体名	事業実施段階			評価	評価コメント
			H29	H30	H31		
島根県	津和野町	津和野町	●	○	□	A	1年目の目標指標4項目の達成率はいずれも100%を超えることとなり、事業実施の結果が成果として現われている。

(注1)「事業実施段階」の凡例: ○…交付対象年度(計画) ●…交付対象年度(実施済) □…目標年度(計画) ■…目標年度(実施済)

(注2)「評価」の区分: A…優良 B…良好 C…低調

3. 第三者の意見聴取

農山漁村振興交付金実施要領別紙3の第7の1の規定に基づき、第三者である竹内 典之から評価に当たり意見の聴取を行った。第三者及び意見聴取の概要は以下のとおり。

【第三者】

竹内 典之

【意見聴取の概要】

4つの成果指標において達成率がいずれも100%を超えたことは評価できる。津和野町では自伐型林業を推進することにより、町内在住者だけでなく、UIターン者が定住することを目指している。このような取り組みは全国で始まりつつあるが、確立した取り組みとなっている自治体はまだないに等しい状況である。地域の特色を生かしながら、自伐型林業を軸にして地域活性化を図る事業展開を継続することが重要である。

農山漁村振興交付金(山村活性化対策) 評価シート

1. 事業実施主体(評価者)	津和野町	事業開始年度	目標年度	事業実施期間
2. 取組振興山村名	津和野町	平成 29年度	平成 31年度	平成29年7月20日～平成30年3月30日
3. 事業費(うち国費)	4,691,170円 (4,691,170円)			
4. 第三者氏名	竹内 典之			
5. 事業評価				
総合評価				
○ 取組の実施状況や目標の達成に必要な取組が十分に行われたか。 (①から④までを踏まえた総合的な評価)		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
① 取組状況				
○ 目標の達成に資するための取組が行われたか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
② 事業実績				
○ 事業実施計画の目標は達成できているか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A)	(B)	(C) 重点指導対象	
③ 実施体制				
○ 事業実施主体の取組体制は十分に機能したか。		(評価理由及び助言等のコメント)		
評 価 (該当に○)	(A)	(B)	(C)	
④ その他				
特になし				

※複数名の学識経験者等第三者から意見聴取している場合、第三者間で調整した意見結果を記載する。

学識経験者等第三者について

津和野町

<p>1. 第三者の氏名、住所</p> <p>① 氏名： 竹内 典之（たけうち みちゆき）</p> <p>② 住所： 京都府京都市西京区嵐山谷ヶ辻子町11</p>	<p>3. 第三者の経歴</p> <ul style="list-style-type: none">・京都大学名誉教授。農学博士・2003年、京都大学において海洋生物学者の田中克名誉教授とともに「森里海連環学」を提唱・NPO法人日本に健全な森をつくり直す委員会委員・2016年、環境省の「森里川海大好き！読本(仮称)」編集委員会委員
<p>2. 第三者に選定した理由</p> <p>竹内典之氏は農学博士であり、人工林の密度管理や針葉樹林を針広混交林への誘導、森林作業道開設などの研究をされている学者である。</p> <p>当町面積の約90%は森林である。人工林率は約35%と全国的数値と比較するとその割合は低いものの、戦後の拡大造林期に造林した森林が成長し、間伐材として利用可能な状況になりつつあり、かつてない森林資源量を有する状況となっている。</p> <p>しかし、急峻な地形と人工林が点在することなどから森林資源の活用はあまり進んでいない現状がある。</p> <p>そのため、森林資源の活用や林業についての豊富な知識を有するとともに、全国各地での先進事例にも精通されている竹内典之氏を選考し、地元住民だけでなく、Uターン者などが林業の担い手として活動するための指導助言がいただけると判断した。</p>	

別紙2

(任意評価様式第3号)

平成29年度	事業開始 1年目	島根県鹿足郡津和野町	島根県 鹿足郡 津和野町
--------	-------------	------------	--------------

農山漁村振興交付金（山村活性化対策）

○事業の実施状況 当年度に行った事業の具体的実施状況・実績について、写真、図等も利用し記載する。

◆林業研修の拠点づくり

自伐型林業のための各種研修会の開催

小型の林業機械（3トンバックホー、林内作業車または2トンドンプ、チェーンソーなど）は安価であることから、自伐型林業を開始するには初期投資額が少ないので取り組みやすい状況にあります。適正な森林管理方法や壊れない作業道づくり、樹木の伐採方法、間伐材の集材造材方法を習得しないと自伐型林業としての取り組みができないことから、国内で先駆的な活動をされている講師を招いて、各種研修会を開催し、技術習得を目指しました。また、先進地への視察研修も行いました。

森林アドバイザーの研修

森林アドバイザーの講演会

森林作業道開設研修



搬出間伐研修 3日間×1回



樹木伐採のチェーンソーワーク研修



先進地視察先 岐阜県立森林文化アカデミー
鳥取県智頭ノ森ノ学ビ舎



メタセコイアの森の仲間たち
とっとり林業技術訓練センター



◆多彩な森林教育のプログラム開発

幼児や小中学生、高校生、その保護者や地域住民などを対象として、森林を活用したイベントの実施や、かつて林業に携わっていた方を講師として知恵や技術を学び、本町の未来を担う子どもたちが森林とのふれあいや森林での学びが楽しいと感じるような森林教育プログラムの確率を目指して、様々な実験的イベントを開催しました。町が主催した木のおもちゃフェアに「森のゲームコーナー」として参加し、子どもたちの反応、意見などを集めました。親子での小屋づくり体験は森林での基地づくりなどを行いました。



◆森林とふれあいに関する拠点づくり

かつてのように人と森林との距離を近い状態にするために、森林資源を活用した活動や森林教育プログラム開発のノウハウ研究、自伐型林業の推移と全国情報を研究している全国の先駆者を招いて、活動の様子を紹介してもらったり、考え方のヒントを伝授してもらった講演会を4回開催しました。

講師：興膳健太氏（岐阜県・里山保全団体「猪鹿庁」）、木俣知大氏（公益社団法人国土緑化推進機構）



巢守和義氏（福井県・福井泉水リゾート（株））、佐藤宣子氏（九州大学大学院教授）



○今後の事業構想 具体的にどのような取組を行うか記載する。

本町では、かつてのように人と森林との距離を近づけることにより、生活の中で多くの町民が森林に関心を持って暮らす生活スタイルを広めて地域おこし協力隊員を中心として自伐型林業を仕事として確立し、持続的に展開することを目指しています。そのために、適正な森林管理方法や有利な森林経営方法、環境に配慮した幅員2.5mで山側の切取法面高1.5m程度の壊れない作業道づくりの技術を習得し、伐採方法や集材造材方法なども先駆的な技術を学ぶことで目的を達成しようと考えています。【自伐型林業を確立するための各種研修会の開催、間伐材の搬出の取りまとめなど森林資源の有効活用のための体制づくり】

幼児、小中学生、高校生、その保護者や関心のある町民などが、森林とふれあい森林を学習の場とするための森林教育プログラム開発を進めたいと考えています。【高齢者などからの技術や知恵の伝承、森林教育のプログラム化のための体験型イベントの開催】

森林での活動の取り組みの魅力を町内外へ発信し、町外との交流を拡大することを考えています。【森林を活用したイベント等の開催】